

**Analisis Makna dukungan pada lirik lagu dalam album Still Still Stellar
Karya Susei Hoshimachi**

ELNGGI GIOVANI TARIGAN
43131.520180.032

STBA JIA
2022

ABSTRAKSI

Tema penelitian ini adalah Dukungan yang merupakan suatu bentuk bantuan yang diberikan kepada individu lainnya berupa bantuan fisik dan psikologi dalam album Still Still Stellar karya Hoshimachi Susei. Objek yang digunakan dalam penelitian ini berasal dari album Still Still Stellar yang berjumlah 9 lagu. Tujuan penelitian ini adalah untuk menemukan makna dukungan sosial dalam lirik lagu yang terdapat dalam album Still Still Stellar. Teori yang digunakan untuk menganalisis lirik lagu tersebut adalah teori dari Ferdinand de Saussure. Teknik pengumpulan data dalam penelitian ini adalah dengan menggunakan cara dokumentasi dan studi pustaka. Penelitian ini menggunakan metode kualitatif.

Kata kunci : Dukungan sosial, Hololive, Lirik, Semiotika.

星町すいせいのアルバム「Still Still Stellar」の歌詞のサポートの意味を分析

ELNGGI GIOVANI TARIGAN
43131.520180.032

STBA JIA
2022

要約

本研究は、星町翠星の作品「Still Still Stellar」のアルバムにおける、身体社会支援分析である。本研究で使用されたオブジェクトは、9曲に Still Still Stellar のアルバムである。本研究の目的は、アルバム「Still Still Stellar」に含まれる歌詞の社会的支援の意味を見つけることである。歌の歌詞を分析するために使用された理論は、**Ferdinand de Saussure** で使い、データ収集手法は、文書化と文献調査を使用することである。本調査では定性的な方法を使用している。

キーワード：社会的な応援、ホロライブ、歌詞、記号論

第一章

はじめに

A. 背景

社会的応援とは、社会的なつながりを通じて提供される精神的または物質的なサポートであり、このサポートを受ける人にはストレス解消効果があると考えられている。社会的支援のストレス緩和効果については、2つの理論があった。その中には、ストレスに苦しんでいる人が直面しているストレスのレベルに関係なく、社会的支援を受けることが精神的および身体的健康に直接的なプラスの効果をもたらすという直接仮説である。

実用するには社会的応援はただただお金や生活必需品などの物的支援だけではなかった。現在色々なメディアに配るのも出来る。現代、社会的支援は娯楽メディアを介して提供することが出来る、その1つが歌によるものである。

歌は、コミュニケーションメッセージを伝えるメディアの1つであり、インストゥルメンタル、ボーカル、またはその2つの組み合わせにすることである。

歌は音声コミュニケーションメディアの一つであり、曲の目的の1つは、メディアを伝達することである。他人が聞くためだけに歌を歌う人は多く存在する。音楽家は、歌を通して何かを伝え、説明し、楽しませ、明らかにしたいと思われる。曲は、ソングライターが自分の欲しいものを明らかにするための手段である。音楽家が伝えたいメッセージがあるからこそ、歌が生まれた。

現在人気急上昇中の有名アイドル会社、カバー株式会社傘下のホロライブ・プロダクション。同社の才能によって演奏された数十のオリジナル曲を制作された。ホロライブ・プロダクションのタレントで現在最もオリジナル曲数が多いのは星町すいせいで、これまでに12本以上のオリジナル曲ビデオ

をリリースし、星町すいせいの歌そのものが歌詞の一つ一つに独自の価値観を持っているのは、アイドルの女の子からリスナーへの社会的支援の要素、またその逆もあり、日々の生活の中で闘志を持って日々を生き続けるための要素が含まれているからである、特に著者が撮影した Still Still Stellar というタイトルの曲のアルバムで、彼女自身と彼女の周囲を表していた。

B. 問題定式化と問題の焦点

以上の拝啓を見ると本研究の問題定式化は Still Still Stellar アルバムの歌に歌詞にある社会的の応援の本意はどう表現されたのか？

第二章

理論的な基礎

A. 記号論

記号論は、記号を意味するギリシャ語の semeion に由来した。記号自体は、何か他のものを表すと見なすことができる、以前に構築された社会的慣習の基礎として定義されている。サインはもともと何か他のものの存在を指し示すものとして解釈された。

記号論の研究は、人類学、社会学、政治、メディア研究、文化研究など、さまざまな分野でその強みを発揮している。一方、記号論は、イメージ手法として、視覚芸術、映画芸術、ビジュアル コミュニケーション デザインを含む建築、マーケティングの分野に影響を思われる。(Wibowo 2013,7)。

B. 歌詞

歌の歌詞は詩と同じ定義を持っており、歌の歌詞と詩は口頭の言語を使用し、多くの場合、修辭的な装置と独特のスタイルを使用し、人生の物語を語り、人生についてのアイデアを提案し、主題と主題の間の交渉における言語の境界を説明した(Eckstein 2010,10)。

また、歌の歌詞と書き詩の違いは、歌の歌詞の言葉が歌の伴奏のリズムに合わせてのみ発声され、音楽に流されて次の言葉に置き換えられることである(ブース、エクシュタイン、1981,7)。

C. ソーシャルサポート

社会的応援とは、社会的なつながりを通じて提供される精神的または物質的なサポートであり、このサポートを受ける人にはストレス解消効果があると思われた。社会的支援のストレス緩和効果については、二つの理論があった。そのうちの1つは、ストレスに苦しんでいる人が直面するストレスの

レベルに関係なく、社会的支援を受けることが心身の健康に直接的なプラスの効果をもたらすという直接仮説である (mm-a.jp 2019)。

社会的支援は、1970 年以來、特にヨーロッパとアメリカで研究者によって研究されてきた思考の概念である ¥ (Keisuke & Mori 2005,58)。社会的の応援自体の定義は、人が愛され、評価されていると感じ、誰かがコミュニケーション・ネットワークの一部になり、責任を共有できると信じる根拠を持っている情報として定義されてた (Cobb 1976 in Keisuke & Mori)。

D. バーチャルユーチューバー

バーチャル・ユーチューバーは、エンタメ界におけるアニメーション文化の発展における新しい現象であり、日本とインドネシアの人々だけでなく、世界中の人々にとっても同様である。「バーチャル youtuber」という言葉を最初に使用した先駆者であるキズナアイは、2016 年後半に自身の youtube チャンネルでコンテンツの作成を開始したと言われていた。ホロライブプロダクションやにじさんじなどで宣伝。そして、この VTuber トrendは日本だけでなく世界中に広がり続け、国際的な人気が高まっている。

E. ホロライブ・プロダクション

ホロライブ・プロダクションは、日本のテック・エンタテインメント会社カバーコーポレーションが設立したバーチャル女性アイドルユーチューバーのエージェンシーである。ホロライブ プロダクションは、マルチ・チャンネル・ネットワークとして機能するだけでなく、マーチャンダイジング、特に音楽制作やコンサート組織の運営も行ってた。その後、2022 年 4 月には、日本、インドネシア、韓国、イギリスの 4 つの地域支部から 68 人の女性アイドル VTuber タレントを管理し、YouTube チャンネルのすべてのタレントのサブスクライバーを合計すると、合計で 4,300 万人以上のサブスクライバーを獲得した。

また、Cover の CEO である谷郷・元昭は、バーチャル アイドルとしての初音ミクや、2016 年にバーチャル ユーチューバーのトレンドを開始したキズナアイなどのバーチャル キャラクターに触発され、「バーチャル アイド

ル・ユーチューバー」会社を作成するというアイデアが最初に浮かんだと述べた。2017年9月7日、カバーは、ときのそらのマネージャーからのリクエストに応じ、キャプチャソフトウェアをブランドとして使用した会社製のアバターを使用し、最初の才能であるときのそら（ときのそら）を VTuber として宣伝していた。2017年12月21日、Cover は iOS および Android 向けのスマートフォン・アプリケーションをリリースした。これにより、ユーザーはホロライブと名付けた AR カメラ技術を使用して仮想キャラクターのライブストリーミングを視聴できる (Cover、2017年)。

F. 星街すいせい

星街すいせいは日本の女性バーチャル YouTuber で、当初は InoNaKa Music 社のインディーズバーチャル YouTuber からキャリアをスタートさせ、その後 InoNaKa Music はホロライブプロダクションに所属し、星街すいせいはホロライブプロダクションに所属した。現在、星街すいせいは、ときのそら、ロボ子さん、さくらみこ、AZKi とともにホロライブジェネレーション 0 に所属している。星街すいせいは、Live 2D アバターを使い Youtube チャンネルでシンプルな歌手としてデビューした。

星街すいせいは、生放送を見に訪れた周りの人だけでなく、訪れた観客をもワクワクさせて幸せな気持ちにさせてくれるエネルギッシュな性格の持ち主である。また、星街すいせいは「仲間重い」、インドネシア語で「友情」と呼ばれる性格も持ち、ホロライブのメンバー全員やコラボしているバーチャルユーチューバーへの気遣いはとても親密、喜びや感動、感動を分かち合い続けている。リスナー、視聴者、ファンとの暖かさ。そのため、す星街すいせいは母や兄弟として知られたり、呼ばれたりすることがよくあることである。

第三章

研究方法

A. 研究方法

この調査を実施するにあたり、調査者は質的記述調査タイプを使用した。質的研究方法は、自然条件で研究を行うため、自然主義的研究方法と呼ばれることが多い（杉代野 2013, 8）。定性的研究は、研究者によって操作されず、研究者の存在がオブジェクトのダイナミクスに実際に影響を与えない、自然のままに発達するオブジェクトに対して行われる。

B. 調査手順

初期段階では、研究者は研究者が採用するテーマを準備し、次に研究のタイトルを決定し、問題の背景を準備し、問題を定式化し、問題の境界を決定し、研究目的を決定し、利益を決定する。研究の概要、研究方法を決定し、執筆体系を整理する。さらに、研究者は指導教官にも相談した。

研究者の実施段階 研究タイトルに関連する図書の検索・収集最終段階では、研究者が最終報告書を作成し、報告書の結果を指導教員に直接提出する。

C. データ収集

この研究におけるデータ収集手法は、文書化と文献調査を使用することである。ドキュメンテーションメソッドは、経過したイベントの記録である。ドキュメントの方法は、誰かの文章、写真、または記念碑的な作品の形をとることができる（杉代野 2013, 240）。

D. 分析方法

Bodgan と Biklen による定性的なデータ分析は、データを整理し、管理しやすい単位に分類し、統合し、パターンを探して見つけ、何が重要で何が学んだかを見つければ、他の人に何を伝えることができるかを決定することによって行われる取り組みである。（ムーロン、2017）

第四章

データ分析

データ 1 では

「その手を伸ばして誰かに届くように僕だって君と特別同じなんかじゃないから」の歌詞に「その手を伸ばして」という文があり、インドネシア語にすると「手を伸ばして」になり、インドネシア語に翻訳すると「誰かに届くように」となる「誰か」という文の中で、この歌詞の記号は、すいせいがリスナーとファンに伝えたいと思っていることである。彼が開催したライブストリーミングセッションを訪れる。そして彼は、ライブストリーミングセッションで初めて彼に会った誰かに、自分の一部として受け入れられているという感覚を与えたいと考えている。翠星はまた、日常生活でリスナーやファンに起こるすべての悪いことを消すことができるスターになりたいという願望を持っている。

最後に、「僕だって君と同じ」という文があり、これはインドネシア語に対をなすと「僕は君と同じ」になる。この歌詞のサインは、彼のリスナーやファンが彼をバーチャルチューバーして、またアイドルとしてどのように見ても、彼は現実世界のリスナーやファンと何ら変わらないことを説明したいということである。困ったときは部屋にこもることもあるが、どんな形でもよかった。しかし、この Stellar Stellar の曲で、すいせいリスナーやファンに伝えたいと思っている。したがって、翠星はファンとリスナーに、まず自分自身のために何か異常なことをするように伝えたいと思える。

第五章

結論と提案

A. 結論

分析した Still Still Stellar に九つの歌から 21 のデータが社会的の応援が見つかった。それぞれの歌にそれぞれの応援の形が持っている。その中には二つの応援形があった、それは情緒的応援と評価的応援。情緒的応援は 15 データが見つかった。例えば Stellar Stellar の「その手を伸ばして誰かに届くように僕だって君と同じ特別なんかじゃないから」歌詞に視聴者は情緒的応援が深くの意味で応援がもらった。そして評価的応援は 15 データを見つかった。例えば Blue Rose の「たまには木陰で休んで君の悲しかったことも聞かせて僕にも力になれることあるかもしれないじゃん」歌詞に、視聴者がその歌詞のものあたりになる感覚を感じられる、という意味を持っている。

B. 提案

日本語学習者にとって、この研究者は、Ferdinand de Saussure の記号論を歌詞や他のさまざまな源情報から理解するための洞察を追加できると期待されている。

歌の歌詞だけでなく、他の方法で記号論を使って真の意味を見つけることに関連する記号論的研究を行いたい研究者には、この研究が文脈形式からだけでなく記号論的価値の使用の概要を提供できることが望まれる。